



災害後のあなたに 起こること

◆ 2021年11月30日(火)
午後1時20分～午後3時00分

◆ 開催方法 / 西宮聖和キャンパス
メアリー・イザベラ・ランバスチャペル
および Zoom ビデオウェビナーによるオンライン開催

◆ 講師 / 古部真由美 氏
（関西学院大学非常勤講師）

◆ 定員【会場】170名
（事前申込要・先着順 [※定員になり次第締め切ります]）
※感染状況が悪化した場合は、学外の方の入場をお断りすることがあります。
【Zoom】500名（事前申込要・先着順）

◆ 参加方法 / 事前登録が必要です。
詳細は裏面をご覧ください。

*本講演会は、手話通訳・パソコンテイクによる情報保障を予定しています。
また、講演会は録画し、後日、本学 Web サイト等で配信する予定です。

■講演内容

自然災害や原子力災害の体験が、その後の被災者の暮らしにどのような衝撃や生活環境の変化、心や健康に影響を与えるのかについて、あまり知られていません。家や仕事の喪失、転居や転校、転職、親しい人との別れの後には、絶望、怒り、悲しみ、生き残った事や幸せを求める気持ちへの罪悪感、学習や人と交流する意欲の低下、不眠、無気力、苛立ち、他の被災者や被災していない人への嫉妬や羨望、避難先住民からの中傷や無理解など、複雑な体験や感情が災害後に起きます。

同時に、様々な周囲のサポートを受け、意欲的に生きる人もいます。災害に遭った時、これらの体験や感情をどうすればいいのでしょうか。また、災害に遭った人に会った時、どのように手を差し伸べればいいのでしょうか。10年の東日本大震災の避難者への相談支援と「避難先で受ける励まし効果」調査、私自身の体験から、災害に遭った後に起きることについて、皆さんと一緒に考えます。

■講師紹介

関西学院大学非常勤講師。福島県「県外避難者支援運営業務」地域巡回員。
2011年に関西へ避難し、東日本大震災による関西避難者への支援団体「まるっと西日本」を設立、代表世話人。被災者相談ダイヤルの開設、被災者へ支援情報誌「まるっと西日本NEWS」編集長。同誌は関西2府4県の自治体のご協力により現在も関西の避難者に全戸配布されている。NHK大阪放送局 関西ラジオワイド「県外避難の皆さんへ」にレギュラー出演(2011～2020年)。

総合テーマ：
「インクルーシブな
社会の実現を
目指して」
(2020～2024年度)

申込方法（事前登録）

以下の URL または QR コードから予約フォームにアクセスし、事前登録をお願いします。

●会場参加の方

＊関西学院大学学生・教職員

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=MATZn9TuPk6aWibNINnIs9StgXiZnylPmAbvIq76hMhUOTdUQlFHUEJNWVQOMjJRUTNRWFN00TNDQSQlQCNOPWcu>



＊学外の方

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=MATZn9TuPk6aWibNINnIs9StgXiZnylPmAbvIq76hMhUQVlPOTdRWFhOWFY3NVRHWTBNEQyUTZKMCClQCNOPWcu>



※上記サイトでの事前登録ができない方は、人権教育研究室(FAX：0798-54-6720)に次の事項を送信してください。

- ・氏名(ふりがな)
- ・連絡のつく電話番号
- ・Eメールアドレス(もっていれば)

●Zoom でオンライン参加の方

以下の URL または QR コードから予約フォームにアクセスし、事前登録をお願いします。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_efjv9iCiS7GMi48pNx6Q



いずれの参加方法でも、定員に達し、ご参加をお断りする場合は、折り返しお返事いたします。

ご来場の場合は、感染防止にご協力を！

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染防止対策として各種の取り組みを行っていますので、ご理解・ご協力をお願いします。

＊次の条件のいずれかに該当する場合は、ご来場をお遠慮ください。

- ・発熱や風症状がある。
- ・濃厚接触者として保健所等から自宅待機を指示された。
- ・接触確認アプリ「COCOA」で陽性者との接触に関する通知があった。
- ・感染者と感染可能期間に接触し、自身の判断等で濃厚接触者に該当すると思われる。

※関学生は、その他登校停止基準に該当する場合は来場できません。

＊【常時マスク着用】・他人との距離の確保・手指消毒の上、他の参加者との会話は控えめにお願いします。

＊新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)の利用をおすすめします。

＊感染発生時、来場客情報が必要になることがありますので、来場者の記録として氏名・連絡先をご提供ください。求めに応じ、保健所等公的機関に来場客情報を提供することがあります。

- ・関学生、教職員等：学生証又は教職員証をカードリーダーにタッチ。

【学生証又は教職員証の持参】してください。

- ・学外の方：事前予約されたメールアドレスへの返信メールや掲示された QR コードの Web サイトから送信してください。

※上記での方法が難しい方には、会場で所定のプリントをご用意しています。